

13 シノリガモ

(カモ目)

兵庫県ランク:B

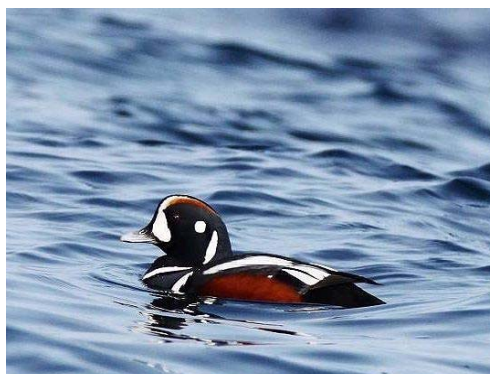
Histrionicus histrionicus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道と本州中部以北で冬鳥とされるが、北海道、青森、宮城、秋田の一部の山地溪流では少数が繁殖することが確認されている。兵庫県では主に12-翌3月に記録がある。岩礁の多い荒磯に生息し、甲殻類や貝類、ウニなどを好んで採食する。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、南千島、本州、舩倉島、佐渡、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、座間味島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(姫路市)、(西宮市)、豊岡市、加古川市、高砂市、朝来市、(淡路市)、香美町、(新温泉町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内では稀な冬鳥で、古い記録は1957年1月淡路市の1例に過ぎない。岩礁の多い荒磯で、大きな群れを作らず、単独か数羽で行動することが多いため確認が難しい。1979年以降からわずかに記録が見られるようになり、2003年以後は渡来情報が増えた。最近では、瀬戸内側の沿岸部と但馬地域の沿岸部に、2桁台の少数で渡来している。

保護上の留意点

採餌場所として浅い岩場の保全が重要。